

「よく見れば」こんな自然が！

2020年2月24日

吉田 万佐敏

< ニホンアカガエルの卵塊からのふ化が始まっている >

豊田市自然観察の森のトンボの湿地では、今年は1月下旬にはすでに多数のニホンアカガエルの産卵を確認できていました。それから約1か月後の今日の卵塊の様子を確認に出向きました。卵塊の数はかなり多く、湿地の一面あちこちに見られました。多分1000を超える数はあったかと思います。すでにふ化が進み、小さなオタマジャクシが群らがる卵塊も多く、カメラのシャッターを押す回数も増えました。

